



宮城県への派遣にかかる活動報告 (漁港災害復旧関係)

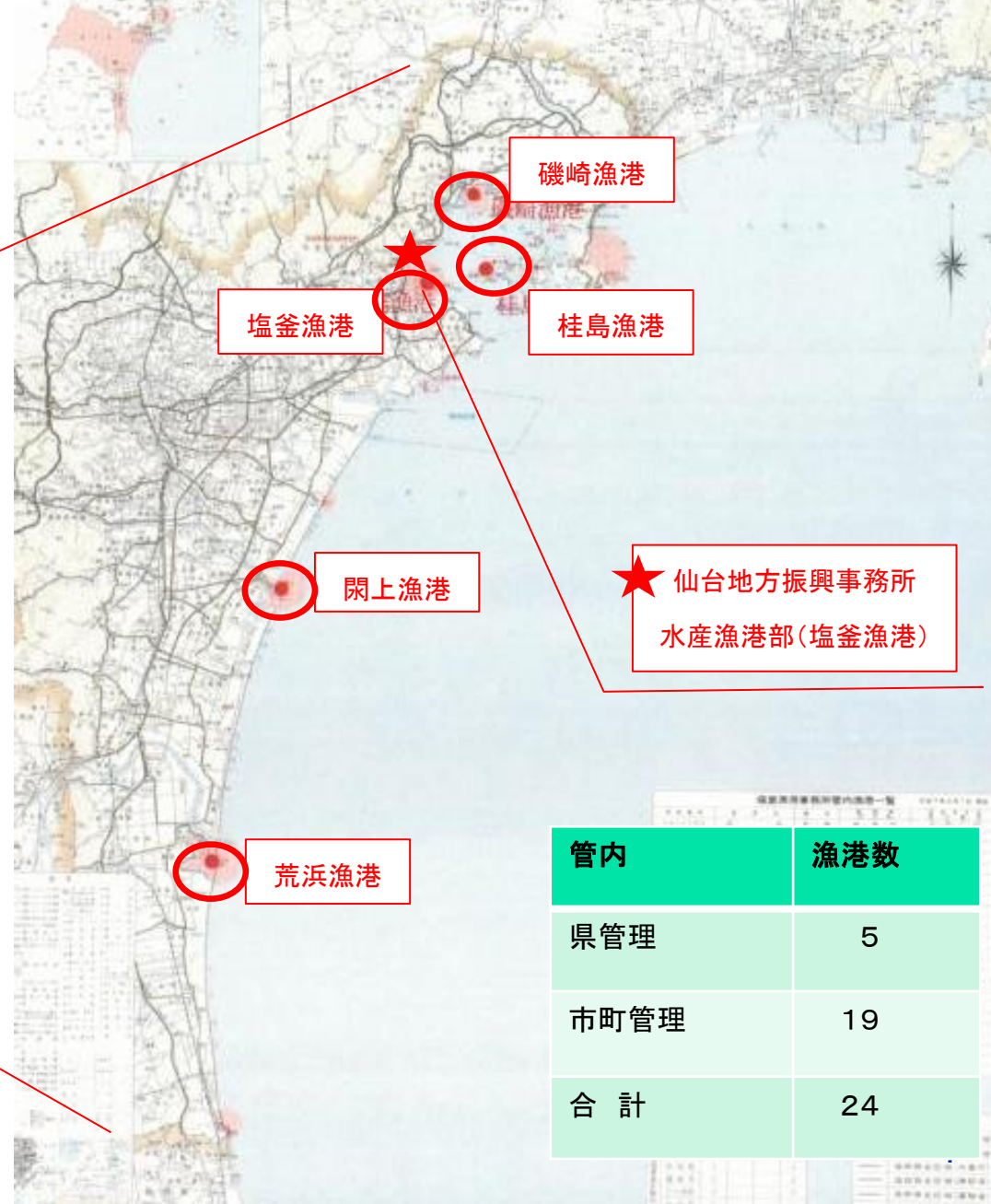
宮城県 仙台地方振興事務所

水産漁港部 漁港漁場班

平成28年2月17日



仙台地方振興事務所管内



磯崎漁港

塩釜漁港

桂島漁港

閑上漁港

★ 仙台地方振興事務所
水産漁港部(塩釜漁港)

荒浜漁港

管内	漁港数
県管理	5
市町管理	19
合計	24

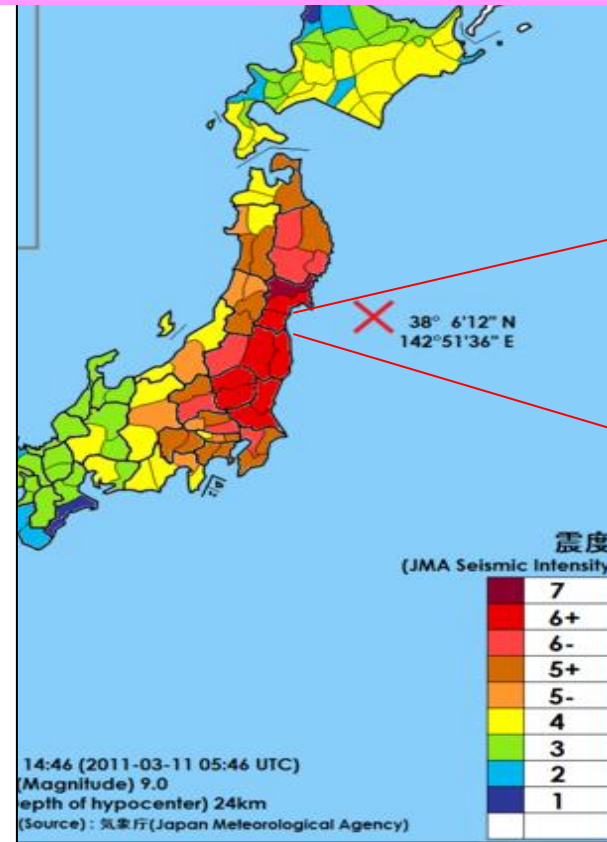
平成23年3月11日14時46分発生

当管内津波高さ			
		単位:m	
市町村名	津波高さ	市町村名	津波高さ
気仙沼市	12.0	松島町	3.1
〃 本吉	12.0	塩釜市	4.9
南三陸町歌津	14.7	七ヶ浜町花湊	6.8
〃 志津川	15.9	仙台新港	7.2
女川町	14.8	仙台市荒浜	9.4
石巻市雄勝	15.5	名取市閑上	9.1
〃 鮎川	7.7	岩沼市二の倉	8.8
〃 明神町	6.6	亘理町荒浜	7.7
東松島市宮戸	8.7	相馬市	8.9

※一般財団法人「日本気象協会」東北地方太平洋沖地震の概要(第3報)

平成23年4月22日発表から引用。

※津波高さは浸水高(津波来襲時の潮位から見た地盤高+津波の浸水深)



当管内
(宮城県南部)
:震度6強

松島湾、塩竈市は、前面に離島(浦戸諸島)がありこれが防波堤となり高さは比較的低い

地殻変動により広域地盤沈下が発生
管内漁港では、約50cm程度の沈下

担当業務 (漁港施設災害復旧)

荒浜漁港



① 物揚護岸

② 魚市場前岸壁

③ 内側護岸

漁港災害復旧の課題

課題1. 入札不調などによる工事着手や執行の遅れ

課題2. 物揚げ岸壁と背後地などにおける復旧後の高さの乖離

課題3. 漁船航行の安全性などを考慮した復旧工法の再検討

課題4. 海岸防潮堤の復旧における地元調整

災害復旧の課題の原因背景

課題1. 入札不調などによる工事着手や執行の遅れ

原因背景

1－(1) 復興工事の集中により専門技術者の不足

(専門技術者: 型枠大工、コンクリート仕上左官工)

1－(2) 労働者確保のために経費(宿泊代等)増

漁港災害復旧の問題への対応

1-(1)の対応策: 場所打ちコンクリートから2次製品への変更による
専門技術者の作業減



型枠大工の作業
左官工の作業



2次製品の
据付作業



漁港災害復旧の問題への対応

1-(2)の対応策:

- ①工事の諸経費算定において割増(復興)係数の導入し、
現実的な予定価格を算定



入札不調を未然に防ぐ(工事の早期着手)

- ②領収書などの確認により、宿泊代等の経費を実績に応じて計上



施工業者における労働者確保の負担軽減
(工事の早期執行)

災害復旧の課題の原因背景

課題2. 物揚げ岸壁と背後地などにおける復旧後の高さの乖離

原因背景

岸壁の復旧に伴い、岸壁だけが嵩上げされた状態になり、地震に伴う広域地盤沈下したままの背後地などと段差が生じ、漁業者の負担となっている。

漁港災害復旧の問題への対応

課題2の対応

岸壁と背後地との段差解消のためのスロープを設置し車両の出入りが可能にする。



漁船と岸壁との段差を解消するため嵩上げ階段を設置し物揚げや行き来をし易くする。



水産業の早期復旧のためには、漁業者の立場にたった細かい対応が必要

災害復旧の課題の原因背景

課題3: 漁船航行の安全性などを考慮した復旧工法の再検討
原因背景

災害復旧事業は原形復旧が原則。

しかし、復旧施設が波浪に耐えられない、

漁船航行の安全性が確保できないため、再検討が必要。

復旧前に、

波浪により先端部が倒壊



航路内も沿い波があり、波浪が高い

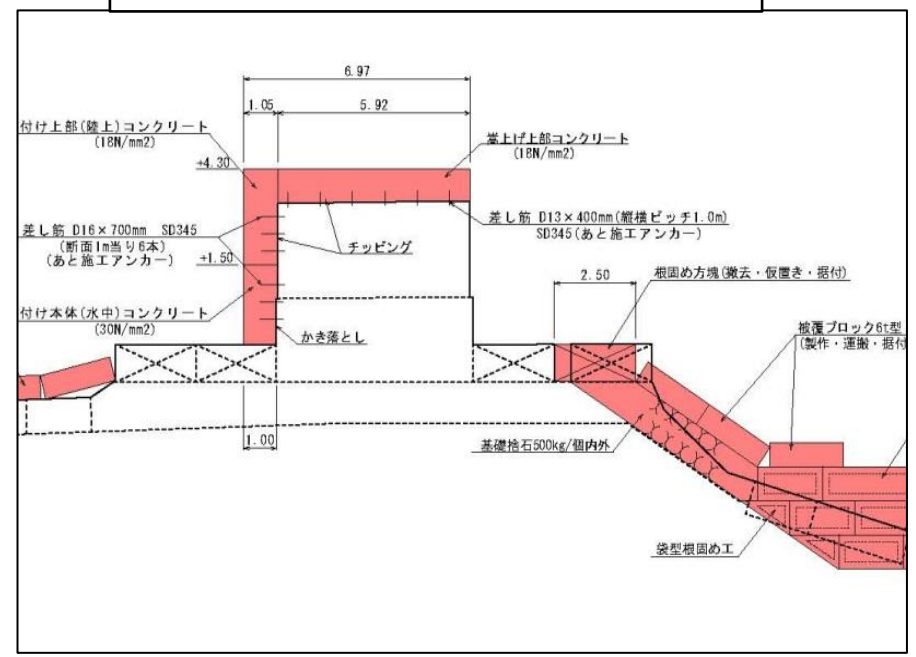


災害復旧の問題への対応

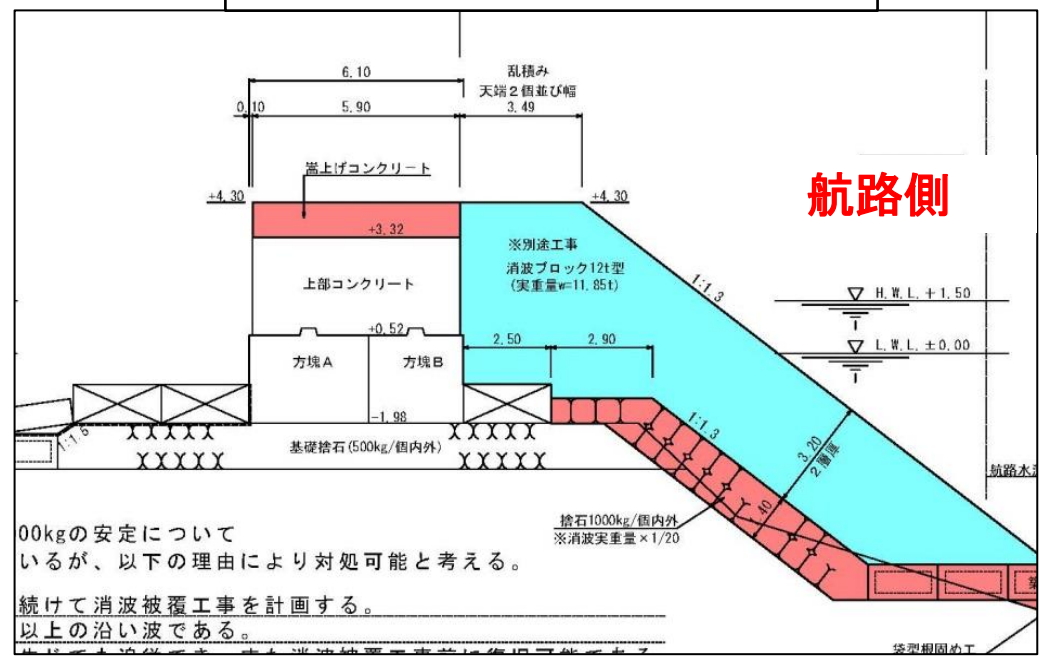
課題3の対応

防波堤の嵩上げと消波ブロックでの被覆により、
施設の保護と航路の静穏度の向上を図る

災害査定時の断面



変更後の断面



1000kgの安定について
いるが、以下の理由により対処可能と考える。
続けて消波被覆工事を計画する。
以上の沿い波である。

災害復旧の課題の原因背景

課題4. 海岸堤防の復旧における地元調整

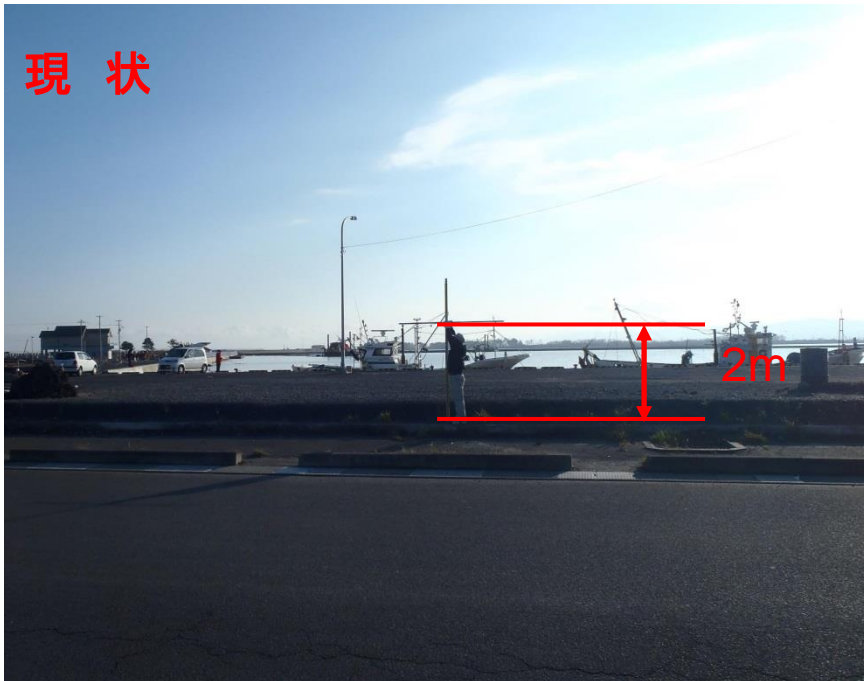
原因背景

震災前は高さ30cm程度の堤防

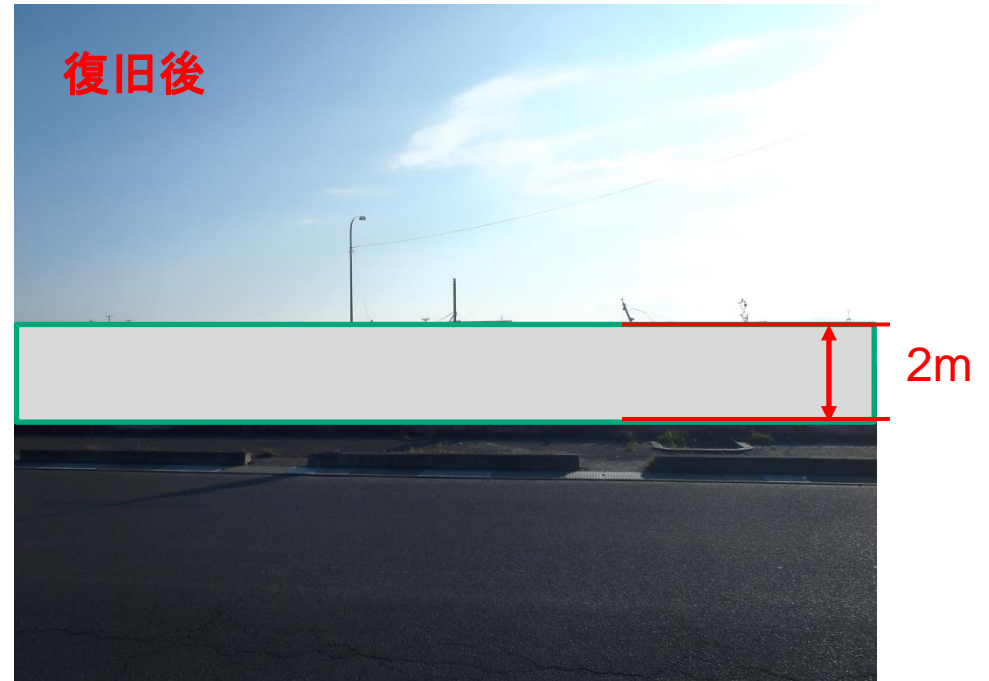
→ 災害復旧後 高さ2mの堤防

海が見えなくなるため、高さを下げる要望が出る

現状



復旧後



災害復旧の課題の原因背景

課題4の対応(調整中)

県として防潮堤の高さは確保したい

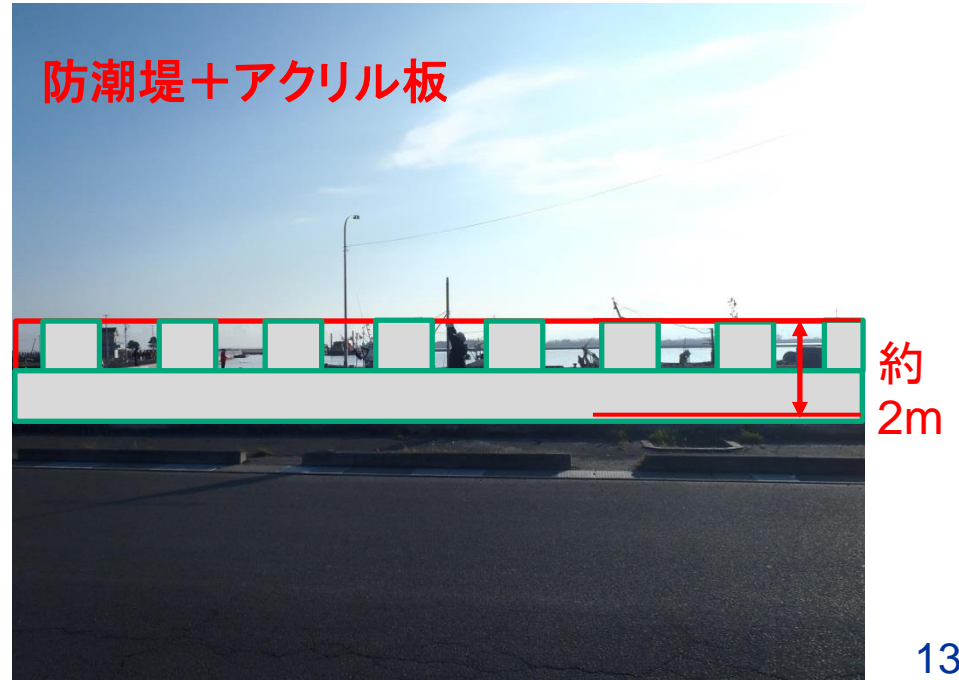
➡️ アクリル窓を設置することで、高さに見える海を確保

問題: 高価であるが、災害復旧事業の補助対象とならない

防潮堤あり



防潮堤+アクリル板



(派遣職員として)大規模災害復旧のやりがい

○岸壁の工事完成時や地元漁協さん、役場の方々が喜んでくれる

○漁港の施設復旧から始まる復興を実感

にぎわい回廊商店街(荒浜漁港)



派遣生活について

私の派遣期間

平成26年4月から(震災3年目から)

住居

宮城県利府町

職場のある塩竈市まで車通勤で20分程度

職場

高台にあり目の前に海と塩釜漁港が見える(いい景色)

職場メンバー

漁港漁場班10名

うち宮城県 プロパー職員 4名

うち宮城県 任期付職員 2名(民間経験者)

うち三重県派遣1、兵庫県派遣1(公務員経験者)

埼玉県派遣1(民間経験者)

うち臨時職員 1名(民間経験者)

水産漁港部の建物



水産漁港部から塩釜漁港を望む



最後に・・・

もう1つの災害復旧・復興
東北を旅して、訪れてみてください。



塩釜みなとまつり



JR仙石線全線開通イベント



東北六魂祭



北限の海女フェスティバル(岩手)



女川町
穴子天丼



(岩手)
碁石海岸
海鮮丼



気仙沼市
カツオ漬丼